



Economic Research Institute
for ASEAN and East Asia



2025 年 6 月 25 日

一般財団法人日本エネルギー経済研究所

『原子力立地地域振興を考えるワークショップ』に関する取材案内について

一般財団法人日本エネルギー経済研究所（IEEJ）は東アジア・アセアン経済研究センター（ERIA）と共同で、7 月 9 日（水）に『原子力立地地域振興を考えるワークショップ』を御前崎市池新田地区センターにて開催いたします。

ご取材を希望される報道関係者は、7 月 7 日（月）12 時までにお申込みいただきますようお願い申し上げます。なお、ワークショップ終了後にはプレス説明会を設ける予定です。

記

1. 日 時：7 月 9 日（水）13:30～17:30

ワークショップ：13:30～17:00

プレス説明会：17:00～17:30

* プレス説明会には、欧米オピニオンリーダー（日英同時通訳あり）、東アジア・アセアン経済研究センター（ERIA）、日本エネルギー経済研究所（IEEJ）が参加予定

2. 会 場：御前崎市池新田地区センター 1 階「多目的ホール」

住所：静岡県御前崎市池新田 3262

TEL：0537-86-2200

3. お申込み：7 月 7 日（月）12 時までに以下の方法でお申込み下さい。

- 以下のURLまたは右のQRコードからお申込み下さい。
<https://forms.gle/pJuYEhremBbMUCHb7>
- または、以下の宛先までメール（タイトルを「御前崎市ワークショップ」とした上で、「会社名・ご所属」「お名前」「連絡先（携帯番号を記載）」にてお申込み下さい。

* 宛先 E-mail：ieej.secretariat@tky.iej.or.jp



<報道機関からのお問い合わせ先>

日本エネルギー経済研究所 研究戦略ユニット 中山

Tel: 070-8700-7976

<別添資料：開催概要>

「原子力立地地域振興を考えるワークショップ」

一般財団法人日本エネルギー経済研究所では、東アジア・アセアン経済研究センターからの委託事業「原子力施設立地地域におけるステークホルダー・インボルブメント促進プロジェクト」の一環として、「原子力立地地域振興を考えるワークショップ」を開催いたします。

本ワークショップでは、原子力利用に向けたステークホルダーの意思決定プロセスへの参加（ステークホルダー・インボルブメント）を促進させることを目的として、欧米の原子力施設立地地域のオピニオンリーダーを招聘し、意見交換を行います。

議論を通じて、我が国を含むアジア諸国の原子力有効利用とステークホルダー・インボルブメント向上のために必要な要件を整理するとともに、それを踏まえた政策提言の取りまとめを目指します。

ご多忙の折大変恐縮ですが、ご参加賜りたくご案内申し上げます。

1. 開催概要

1) 日時

- 2025年7月9日（水）13:30～17:00

2) 会場

御前崎市池新田地区センター 1階「多目的ホール」

- 住所：静岡県御前崎市池新田 3262
- TEL：0537-86-2200

3) 主催／後援

- 主催：東アジア・アセアン経済研究センター（ERIA）
- 共催：一般財団法人日本エネルギー経済研究所（IEEJ）
- 後援：御前崎市

4) 使用言語

- 日本語／英語（同時通訳付き）

5) その他

- 本ワークショップの傍聴は報道機関による取材のみとさせていただきます。取材はフルオープンですが、ワークショップ終了後には同会場にてプレス説明会（欧米オピニオンリーダー、東アジア・アセアン経済研究センター、日本エネルギー経済研究所が参加予定）を開催する予定です。
- 御前崎市の住民向けには、後日、御前崎ケーブルテレビにて放映する予定です。

2. プログラム（敬称略）＊プログラムは予告なく変更される場合があります

13:00-	開場&受付開始
13:30-13:40	開会挨拶：（一財）日本エネルギー経済研究所 理事 工藤拓毅
13:40-13:50	歓迎挨拶：御前崎市 市長 下村勝
13:50-14:30	基調講演：（公財）地球環境産業技術研究機構 システム研究グループリーダー・主席研究員 秋元圭吾
セッション1	『御前崎市と原子力発電所の関わり、これからの地域活性化について』 （進行役：（一財）日本エネルギー経済研究所 小笠原潤一）
14:30-15:30	御前崎市役所 GX推進課 中嶋一裕 御前崎市 前市長 柳澤重夫 中部電力（株）浜岡地域事務所長 榎尾一秀 質疑応答
15:30-15:40	休憩
セッション2	『諸外国の原子力立地地域振興』 （進行役：（一財）日本エネルギー経済研究所 小笠原潤一）
15:40-16:40	エイヤ・リッタ・コルホーラ（フィンランド）、 マーク・ニコル（米国）、マイケル・ラシュトン（英国）、 ハッリ・ヴァルヨネン（フィンランド） 質疑応答
セッション3	『本日の議論まとめ』 （進行役：（一財）日本エネルギー経済研究所 小笠原潤一）
16:40-16:50	議論の総括と提言まとめ
16:50-17:00	閉会挨拶：東アジア・アセアン経済研究センター（ERIA） 研究戦略・イノベーション ディレクター ベンカタチャラム・アンブモジ
17:00-17:30	プレス説明会

海外スピーカー

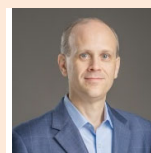


エイヤ・リッタ・コルホーラ（フィンランド）

欧州経済社会評議会 産業変化諮問委員会委員、ヘルシンキ市議会議員、元欧州議員など、幅広い経歴と知見を有する。原子力に対して否定的な立場であったが、気候変動や資源の観点から肯定的な考え方に。

マーク・ニコル（米国）

原子力エネルギー協会（NEI）次世代原子力担当執行理事。複数の民間企業で使用済燃料管理、運転、新設など幅広い技術分野に関与。2011年よりNEIに。政策、規制、事業環境などの改善に向けた産業界の取り組みを主導。



マイケル・ラシュトン（英国）

バンガー大学 原子力未来研究所 教授 兼 メナイサイエンスパーク 理事。核物質の原子スケールシミュレーションを専門としつつ、ウェールズ地域における原子力人材育成と地域開発にも関与。

ハッリ・ヴァルヨネン（フィンランド）

原子力産業団体FinNuclear Association事務局長。技術者としてTVO（電気事業者）およびIAEAを経て、2023年より現職。フィンランド企業の国際連携強化や政府への提言などを主導。

